



[本校] 〒950-2292 新潟市西区みずき野3-1-1  
tel. 025-239-3111 fax. 025-239-3690  
[新潟中央キャンパス] 〒951-8068 新潟市中央区上大川前通7-1169  
tel. 025-227-7111 fax. 025-227-7117  
http://www.nuis.ac.jp somu@nuis.ac.jp



平成28年 4月15日 発行

## 平成28年度(第23回)入学式

## 希望を胸に 輝く311人



ガイダンスなどで第一歩を踏み出しました。

平成28年度の入学式が4月5日、青空に桜も開花したみずき野の本学体育館で行われ、新入生311人(情報文学部185人、国際学部126人)が、気持ちも新たにキャンパス生活をスタートさせました。

希望に胸を膨らませ緊張気味の新生一人ひとりが氏名を呼ばれて起立。平山学長は「ここが皆さんの未来へ飛翔するスタートの地です。大学に入って自由な生活に戸惑う人も多いでしょうが、最初の半年で学ぶ習慣をきちんとつけ、学ぶ楽しさを知ってください。将来の夢の実現と自立に向かって主体的に学び、考える力をつけてほしい。友情を育み勉学にスポーツに青春を謳歌して、深い思考力で包容力のある人間性豊かな人になってください」と式辞を述べました。

在学生を代表して情報文化学部情報

主体的に学ぶ習慣を  
友情を育み青春謳歌

システム学科の古川静馬さんが「部活動や資格取得、ボランティアなど、何かに挑戦してほしい。さまざまな人々と交流を増やし、出会いを大切にし、なりた自分の道を作ってほしい」と歓迎の言葉。

これに対し新入生代表の情報文化学部情報システム学科の渡邊鉄郎さんが「向上心を持って学習に努めたい。日々の勉強だけでなく部活動、サークルやイベントなどで友人や先輩と

関わり、新たな気づきや学びを見つけ、知見を深めたい」と入学の抱負を述べました。

派遣留学などで提携するアメリカ、ロシア、中国、韓国、カナダ、5大学の祝福ビデオメッセージが紹介され、新入生たちは学生会館前で待ち受けた各種サークルの先輩たちから「おめでとう。ようこそ」と祝福されて校舎へ。早速



## CONTENTS

## 2~5面

平成28年度入学式特集  
学長式辞  
新入生代表・私の抱負  
在学生代表・歓迎の言葉

新入生交流プログラム  
両学部長のメッセージ

## 6・7面

退任教員あいさつ  
佐渡 夢プロジェクト発表会  
新任教員紹介  
オープンキャンパス案内

## 8・9面

派遣留学・海外夏期セミナー帰国報告  
提携大学迎えCOC+国際交流事業

## 10・11面

就活スタート 学生・企業交流会  
本番を前に模擬面接  
平成27年度主な就職先一覧

## 教員の活動

## 12~16面

平成27年度卒業式特集  
卒業にあたって  
学長式辞・理事長祝辞・卒業生答辞  
JABEE認定10人に修了証書  
特別表彰 式典スナップ



NUISホームページ  
https://www.nuis.ac.jp  
(スマートフォン対応)



Facebookページ  
https://www.facebook.com/nuis.face



LINE@  
@nuis-line3111

LINEの「友だち追加」から「ID検索」で登録



## 入学式

## 式辞



新潟国際情報大学  
学長 平山 征夫

本年もみずき野に春の訪れと共に新入生を迎え、このように入式を挙げていきますことを心から喜んでおります。まずは新入生皆さん「入学おめでとう」。本学役員、教職員一同入学のお祝いを申しあげますとともに心から歓迎いたします。

皆さんは本学第23期の新入生です。平成6年の開学以来毎年春に卒業生を送りだし新入生を迎え、本学の歴史を刻み伝統を育んできました。これからはその仕事を皆さんが引き継いでゆくわけです。どうかこのキャンパスで大学生活を、青春の日々を輝いてください。

皆さんはこれから送るこのみずき野での大学生活に対して大きな期待とともに不安も抱いていることと思います。私も教職員は皆さんがスムーズに大学生活に溶け込めるよう全力でサポートして参りますので、遠慮なく質問し一日も早く大学生活のリズムを築いてください。

本学は幸い多くの先輩教職員、卒業生たちの努力もあつ

て、この20年余りの比較的短い歴史にも関わらず、地域から信頼される存在として評価されるようになりました。こうした実績をさらに積み重ね「地域になくてはならない大学」として一段と信頼される存在になりたいと願っております。そしてそれが本学の輝かしい伝統になることを期待しています。

本学は国際化・情報化時代に地域で必要な人材育成を目的に設立され2学部制として再スタートし、さらなる教育効果を発揮するため体制を整え、併せてより充実したキャンパスライフを送れるよう学生会館も建設しました。自然環境と学園環境が整った本学キャンパスで、友情を育みながら勉学にスポーツに大いに青春を謳歌してください。ここが皆さんの未来への飛翔のスタートの地となりますことを念願しています。

本年は情報文化学部185名、国際学部126名、両学部合計で311名の新入生を迎えました。教職員一同建学の理念であります「わが国の社会、文化についての認識と理解を基礎に、国際化、情報化の社会の中で役に立ち、能力があり、意欲があり、人間性豊かな人物を育成する」と言う目的に向かって、皆さんが日夜勉学に勤しみ、人格および人間形成に励むことが出来るよ

う最大限支援します。でも主役は皆さんです。皆さんが将来の夢の実現と自立に向かって主体的に学び、考える力を身につけてください。

皆さんは先程述べた本学の建学の精神等に共鳴し国際文化、語学、情報システム、経営情報といった専門分野に興味を抱いて、高等教育を本学で学ぶことを選択したわけですね。私たちは皆さんのそうした希望が達成出来るよう最大限応えて参ります。どうか皆さんもご自分の目的に向かって勉学に励んでください。そのためには、まず入学後早期に勉強する習慣を身につけてください。大学では高校までのように決められた授業スケジュールに従って学ぶのではなく、自らが何を学ぶかを決め、カリキュラムを選んで学ぶのです。しかも選んだ授業に出るかどうかも自己判断です。大学に入ってから自由な生活に変わって、戸惑ってしまうようですよ。私たちは、入学後最初の半年間に自由の中にも規律のある、そして自ら学ぶという生活習慣を身につける必要があると思っています。それが出来ない授業についてゆけず、欠席しがちになってしまいます。最初の半年間で学ぶ習慣をきちんと身につけ、学ぶことの楽しさを知ってください。

以前卒業生にも申しあげたことがあるのですが、インド独立の父マハトマ・ガンジーは、「明日死ぬと思って生きなさい、永遠に生きると思って学びなさい」という言葉を残しています。大学生となって「自ら

学ぶ」という人生のスタートを切る皆さんにとっては大切な意味を持った言葉だと思います。

皆さんの大半は現在18歳前後だと思っています。そこで「18歳の決心」というお話をします。先日上野の国立博物館で開催されています「黒田清輝―日本近代絵画の巨匠」展を見ました。黒田は18歳で法律を学ぶ目的でフランスに渡りました。パリで留学中の日本人画学生と付き合っているうちに、自分も絵画を学ぶことに方針転換します。その時留学目的変更の了解を得るため養子に行った先である叔父にあてた手紙が残っていて展示されていました。そこには「今般天性ノ好ム処ニ基キ断然画学修行ト決心仕候」と記されていました。明治16年という時代に18歳で海外に留学した清輝の強い決心が伺える手紙に思わず身が引き締まりました。皆さんと同じ年齢の若者の約130年前の決心です。見事と思います。この強い決意を抱いて、黒田は師匠ラファエル・コランについてフランス・アカデミア絵画を学び、日本に近代絵画を持ち込んだわけです。時代は変わっても若者に必要な決心です。どうか本学在学中に人生の目的を決め、それに邁進することを決心するよう心がけてください。

大学では高い専門性と同時に極力幅広い分野の学びも行い、色々な問題に関心をもち、深い思考力を身につけるようにしてください。そのトレーニングが人間として考える力を深め、相手の意見をも受け入れる包容力を身につけてくれます。包容力のある人間性豊かな人格を形成していくことが、信頼される人間になる条件です。

専門分野以外、例えば哲学、文学、美術、音楽など思考と感性を豊かにしてくれる分野にも大いに興味を持って取り組んでくだ

## ここが飛翔スタートの地

# 勉学スポーツ大いに励め

委員会に相談してください。

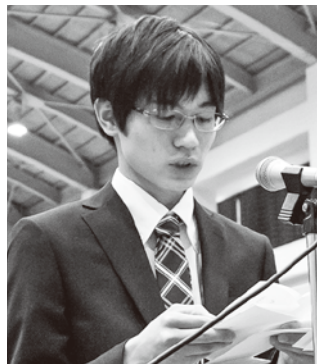
御父母の方々にも家庭でお子さんと大学生活について話しあってください。特に入学後の半年くらいの間で勉学態度が確立出来るかどうかポイントですのでよく見守ってください。ゼミなど欠席が続いた場合には大学側から連絡させていただきます。不幸にして途中で家庭事情の変化で勉学の継続が難しくなった場合にも相談してください。勉学意欲を持った学生が経済的事情で学び続けられなくなることを何とか避けたいと、父母会の御尽力で一定の条件を満たすケースについては支援する制度を本学独自に数年前発足したところです。どんな事態になっても勉学意欲は持っていてください。一緒に悩み相談に乗ってくれる人があることを忘れないでください。

さい。クラブ活動や、先生や友人との人間関係からも多くの事を得るでしょう。積極的に部活や友人づくりにも取り組んでください。私は本学の校歌の中の「憧れを空に描いて 友と歩もう 夢つくる道を」という歌詞が大好きです。本学で皆さんにそんな学生生活を送って欲しいと願っています。皆さんはこの大学で自分の学びたいことと自分の適正を見定めながら、自身の将来の生きる道、生き方を見出していただきたいと思います。

明日からの大学生活は高校生時代とは全く違い、限りなく自由です。でも自由であるからといって学生の本分である学ぶ事を忘れてはいけません。自己管理をしっかり行い、目的を定めメリハリのある計画的な学生生活を送ってください。本学の卒業生ですが、入学時から最難関の新潟県庁を目指し、そのため必要な公務員コースの勉強を毎日独学で修め合格しました。見事な目

的意識です。語学をとってみても毎日のトレーニングが積み重なってTOEFLの点数になるのです。もう一つあまり入学式にはふさわしくないのですが、毎年お願いしていることがあります。学生諸君だけではなく御父母の方々も一緒に聴いてください。それはこうして期待に胸を膨らませて入学しながら、途中で休退学する学生がいるということなんです。経済的理由による休退学者も徐々に増えています。勉学意欲の喪失、実質は授業に関心が持てない、ついてゆけないという理由が一番多いようです。極めて残念なことです。しかもよく伺いますと、もっと早く相談してくれば何とか休退学に至らずに済んだのにというケースもあります。私たちは極力こうした事態に至らないよう全力で皆さんの相談に乗って問題解決に努めたいと思っています。ゼミの先生を中心に履修状況を見ながらヒアリング等を行いますので、悩みを抱え込まず事前に相談してください。多くの場合が自由すぎて自分の目的が定まらず、勉学習慣が身につかず授業についてゆけなくなり、登校しなくなるというケースが多いようです。そんな状態になり始めましたら、すぐにゼミの先生か学務課の担当者のほか、この問題を私以下で担当していますキャンパスライフ支援

## 私の抱負



新入生代表

情報文化学部 情報システム学科1年

渡邊 鉄郎

## チャレンジ精神で

## より高みを目指す

麗らかな春の日差しの下、冷たさの残る風も心地よく感じる季節となりました。

本日は、私たち新入生のために、このような素晴らしい入学式を挙げて頂き、誠に有難うございます。また、数々の激励の言葉も頂き、心より厚く御礼申しあげます。

現在、急激に普及したインターネットは、今では私たちの生活と強く結びつき、必要不可欠な存在となっています。最近でも、ネットワークを駆使した新しいテクノロジーの発展が目立ち、社会における情報、通信技術の重要性は益々増加しています。このような社会の中で、ただ、受動的にそれら消費するのではなく、自らが生産、供給する側となり、より豊かで安心できる社会を築く上での一員になりたいと思っています。そのための知識や技能をこの大学での学習の中で身につけ、将来は情報化社会

に貢献できる人間になりたいと願っています。

大学での学習は、与えられるものではなく、自分から積極的に行動することが求められます。疑問に感じたことは解決するために探究し、向上心を持ち学習に努めたいです。また、日々の勉強だけでなく部活動、サークルやイベントなどの課外活動での友人や先輩方との関わりの中で、新たな気づきや学びを見つけ、自己の知見を深めたいと思います。

新潟国際情報大学での4年間を有意義なものにするため、知識、経験共に豊富な先生方から多くのことを学び、常にチャレンジ精神を忘れず、より高みを目指すことをお誓いし、私の抱負とさせていただきます。

皆さんのみずき野での大学生活がこの豊かな自然の中で充実したものとなりますよう願っています。東日本大震災から5年が経過しました。被災地の私の友人の話では被災時中学2年生だった子供が今年大学生になるのだけれど、家庭の事情で進学を諦めるケースがみられ、思ったほど復興が進んでいない影響が進学事情にもあるんだと言っていました。こうした被災地の若者のことを思いやる気持ちを持ち、学ぶことの出来る喜びを噛みしめてください。本学では挨拶運動をしています。この式の後からは早速大学内ではお互い元気よく「おはようございます」「こんにちは」と挨拶しましょう。挨拶から信頼しあう人間関係が生まれます。今日から皆さんは同じ仲間として互いに挨拶をしましょう。颯爽とした皆さんの大学生活ぶりを楽しみにし、学長としての歓迎の式辞といたします。





在学生代表

情報文化学部 情報システム学科3年

古川 静馬

## いろんな事に挑戦

### 様々な人と交流を

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新潟国際情報報大学在学を代表して心から歓迎いたします。また、ご臨席いただきましてご両親、ご家族の皆様にも心からお祝いを申し上げます。

さて、本日から新入生の皆さんは新潟国際情報報大学においての一人の学生となります。皆さんの率直な気持ちを代弁いたします。「期待」や「不安」などの気持ちをお持ちであると思います。もちろんそうではなく「自由」だと思ふ人もいらっしゃるはずです。それもそのはずで、大学生活は今までの中学・高校生活の時とは違い縛られるものが少ない、ということは確かです。縛られるものの具体的な例としては主に「時間」です。大学生活においての「時間」はおそらく大学生活を過ごしていく中で気づくと思いますが、予想以上に「自由な時間」として表れてくるはずです。もちろん期末テストや課題などやらなければならぬものもありますが、それらを除いても1、2年生のうちには自由な時間が多いと思います。しかしながら裏を返せば、何かやりたいことを見つけたら、自ら行動を起こしたりし



## 自己紹介や歓談タイム 新入生交流プログラム

ないかぎりその自由な時間がただ過ぎて行くということもまた確かです。そうはいっても、既にやりたいことや目標などを見つけている人がいれば、まだいろいろぼんやりとしている人もいます。私の場合も、大学生になりたての頃は何をしようかなどは考えていませんでした。

私からは皆さんにそれを踏まえまして、一つ、「挑戦」という言葉を送らせていただきます。これは大学生活だからこそある時間を有効活用していただくために何か「挑戦」してほしいという願いをこめてい

ます。それでもただ「挑戦」といっても大雑把すぎ、部活動をやる、資格を取る、ボランティアをするなど様々あると思います。皆さんにはその「挑戦」の一つのきっかけとして、後日行われるクラブ紹介や各学部ごとの少人数で行われる講義などを活用して、まず初めに様々な人との交流を増やして欲しいと思います。交流を通じて学生だけでなく、教職員や周りの人たちとの出会いを大切にすること共に、なりたい自分の道を作ってみてはいかがでしょうか。

最後に繰り返しますが、この大学生活だからこそある時間を有効活用してほしいと思います。楽しいことやつらいこと

入学式翌日からは早速、新入生ガイダンスが始まりました。その中の新入生交流プログラムは入学式翌日のランチタイムに併せて本学食堂「弥彦」で開催され、1テーブル6人の新入生に対して1人の上級生ファシリテーターが座りました。まず平山学長の挨拶

後、3マス自己紹介が行われました、これは1枚の紙に名前、今日の気分、各自のストレス発散法を書いて紹介するもので一気に学生たちの緊張がほぐれました。

歓談タイムは皆さんでゲームが行われ、優勝チームには大学近隣飲食店の食事券がプレゼントされました。

## 祝電

順不同

日本私立大学協会会長	大沼 淳様
新潟県知事	泉田 裕彦様
新潟市長	篠田 昭様
新潟商工会議所会頭	福田 勝之様
株式会社日本ドリコム	代表取締役 山城由紀雄様
株式会社リクルート北関東マーケティング	代表取締役社長 中島 淳二様

## 湧源

編集後記に代えて

入試・広報委員長 小宮山 智志

いま、みずき野キャンパスの正門前のハープ園「ガーデンティティ」で飲んでいる。残念なことに本日で閉店となる。ここで多くの学生が食事を楽しみ、友と語り明かした。大学での学びには、他者との対話は欠かせない。

このコーナーでは3回続けて、本学が「情報文化の創造」となる発展に貢献する人材の育成を通じて、世界平和の実現を目指していることを紹介してきた。最後に開学時の大学案内における内山秀夫学長の文書の一部借用し、少し説明させていただきます。人類は身振り・しぐさ・かけ声・絵・言語・文字・記号と「さまざまな地域で、数多くのコミュニケーション形態」を発展させてきた。しかし「地域・民族・国などを単位とするその独自性は「群れ」の共通利益を守る一方で、逆に、他民族を拒む壁」となっている。本学は「国境や地域、そこに根づく文化の違いを大切にしながら」、国・地域を越えた「価値観のもとに情報ネットワークを形成し」「そのつながりを人類の共存・共生の真の絆とするために」情報文化の創造・発展を通じて、世界平和の実現を目指しているのである。

このような国際化・情報化の必要性・重要性が叫ばれながら、日本全体をみると、皮肉なことに留学する学生の減少ばかりでなく、国内においても若者の「スクールカースト」「宇宙宙化」など「他者を拒む」傾向が指摘されている。私たちはここ新潟から「他者を拒む壁」に挑戦している。ここガーデンティティで交わされてきた学生の対話は、大きくこの地域の大学への多大なご助力に感謝しながら、もう一献、盃を傾けたい。

# 実践力を磨き、明日を切り拓け！

## 国際学部

### 澤口 晋一 学部長



皆さんは何をするために大学に入学したのでしょうか。もちろん人それぞれいろいろあると思います。しかし、一つ共通していることがあります。それは「学ぶ」ために、ということだと思います。何を当たり前のことを——と思う人もおそらく多いでしょう。

## 情報文化学部

### 小林 満男 学部長



持ち運べる電話として登場した携帯電話がインターネットにつながるようになったのは1999年。現在では電話やメールにとどまらず、ツイッターなど

う。しかし現実には、大学で「学ぶ」とはどういうことなのかをよく知らない学生の方が多いようです。

講義に出席して教員の話聴くのも確かに学ぶことです。しかし、それだけなら高校までと

はつきり言えば、学ばれているに過ぎないということです。大学での学びとは、本来、決してそういうものではありません。

では大学で学ぶとはどういうことか。それは「自ら問いを見

## 「自ら学ぶ」姿勢で考え続ける

何ら変わりはありません。大学にはゼミという形態の授業もあります。確かにゼミは多くの場合、学生の報告を主体に組み立てられます。ただし、そこで課題を出すのは教員です。共通するのは受動的な学びであり、

つけ、取り組み、解決するまで考え続ける」こと。そしてそのための勉強を怠ることなく続けること。これに尽きます。自ら問いを見つけるためには、広い知識のほかに理解力、洞察力、思考力そして感性を身につける

大学の授業は、皆さんが自らの問いを発見するための一つの材料提供のようなものです。したがって、受け取るだけで満足して何も考えないようでは、授業の意味が半減するだけでなく、いつまでたっても自ら問い

を発見することはできません。「あの先生はこんなことを言っていたが、本当だろうか、違うのではないのか、それなら自分で考えて学び、納得いくまで調べよう」という態度。つまり「自ら学びにいく」という姿勢が強く求められます。これが大学で学ぶ本当の意味です。

皆さんには明日から次のことをぜひ実行してもらいたい。

- ①興味や関心のあることをできるだけ早いうちにみつける
- ②本と新聞を毎日読む(越後線で見られない、スマホはしない)
- ③好奇心とやる気を4年間持続する

のソーシャルネットワークキングサービスをはじめとして多種多様な利用ができるスマホに進化してきました。昨今、センサーを搭載したあらゆるモノがインターネットに接続される「IoT (Internet of Things)」や大規模

豊かにし、製造、建設、交通や医療などの現場で新たなビジネスやサービスを誕生させています。このような社会的ニーズに応えるため、情報システム学科では創設以来、コンピュータ利用

を設置し、企業や団体の経営・組織・マーケティングなどについても深く学べるようにしています。大学では基礎的な知識を習得することにとどまらず、制約された条件のもとで課題を解決す

## 血縁、地縁、職縁、電縁、学縁が大切

なデータを解析するビッグデータに関連する記事が新聞や雑誌等に毎日のように登場しています。これらの技術は日常生活を

技術に加え、組織や社会を構成する人間系を重視した教育が必要であるとの立場にたつて、人文・社会科学系を含めた幅広い教養を学べる情報システム学を

るためにものの見方や考え方を学びながらPBL (Project Based Learning)などを通して、具体的な解決手法を提示するような実践的な学習が期待されています。学習はきわめて社会的なもので、そこでは人々との関

## 新入生の皆さんへ

育ててきました。2013年度からは情報コースと経営コース

係性、すなわち縁の広がりが増え、家族や親戚などとの血縁、地域の人たちとの地縁、職場における職縁、インターネットなどを通じた電縁、そして本学で共に学ぶことで培われる友人たちや教職員との学縁を大切にしながら、明日の時代を切り拓く実践力を身につけてください。卒業研究では全員が研究テーマを持って文献研究、調査、実験などを行いながら卒業論文を執筆します。また、カナダ・アルバータ州立大学の夏期セミナーや学外実習などの豊富なキャリア開発プログラムを活用し、実りある学生生活を過ごすことができます。



# 5人の先生方

3月末をもって大学を離れ、神奈川県の実業大学に異動しました。私が本学に着任した2001年は、アメリカ合衆国である9・11事件が勃発し、日中関係が歴史問題で変質し始め、さらには中国がWTOに正式加盟して、その後、世界経済を大きく左右する存在になった歴史的な年でした。

## 今日の国際問題テーマ

国際文化学科 教授 小林元裕



た。以来14年半、今までに起きている国際的事件や数々の問題をテーマに授業や研究ができたのは、私にとつて大変貴重な経験となりました。すばらしい教育環境を与えてくれた新潟国際情報大学、教職員の皆さん、そして卒業生、在学生に心から感謝します。

After five enjoyable years teaching in the Communicative English Program (CEP) I have accepted an opportunity at a university in Nagoya. I would like to thank the students and staff at NUIS for their kindness and support. It has been a pleasure to work with you and I will miss seeing you at the Mizukino campus. I will



## 楽しく充実したCEP

国際文化学科 契約講師 Paul Dickinson

especially miss the CEP students who made my time here so rewarding with their friendliness and spirit of fun. I always enjoyed the CEP classes and hope the students did, too. I hope we can meet again, here in Niigata or in Nagoya, and wish you all the best for the future. CEP: 本学独自の少人数英語教育

(5年の楽しいCEP講座を終え名古屋の大学に移りました。親切に教えてくれた学生、職員に感謝します。一緒に仕事をした喜び、キャンパスで会えない寂しさ。特に、ここでの時間を実り豊かにしてくれた好意的で明るいCEPの学生に会えない……。講座はいつも楽しく、学生も同様だと思います。新潟、名古屋での再会を願い、皆さまの幸せを祈っています)

## 羽茂小泊集落と交流3年

# 佐渡 夢プロジェクト能楽講座発表会

本学の学生らが1月9日、新潟市民芸術文化会館りゅうとびあ能楽堂で、能とプロジェクトシオンマッピングの発表会を行い、大学と佐渡市関係者ほか大勢の一般市民から大きな拍手を受けました。



この発表会は、佐渡市が平成24年度に公募した「佐渡 夢プロジェクト」に大学として「羽茂小泊集落の能楽継承と地域活性化」を提案し、応募した全国12大学の中から優秀賞に選ばれ、翌25年度から27年度まで3年間続けた能楽講座の集大成です。

佐渡出身や島に縁のある能楽師3先生の指導で3年間、謡、仕舞、笛、小鼓の能学講座を開講。学生や新潟市民も受講して羽茂小泊白山神社で発表するなどの活動を行い、能楽関係者や羽茂小泊集落の人たちと交流を深めました。

同時に、佐渡でのチャレンジ事業やコミュニティ事業等を活用した能楽継承活動を積極的に行っていました。

発表会は、能楽師3先生と小泊集落の人たち、県内の能楽愛好家の賛助出演で、伝統の能と最新プロジェクトシオンマッピングのコラボレーションを展開。幽玄な能の雰囲気や笛の音と映像で盛り上げ、舞い手の動きに合わせて曲の情景を映像で表すという国内でも珍しい演出に、客席から感動の声もあがりました。

終了後の観客アンケートでは、「今後も能と映像のコラボレーション公演に期待しますか」という問いに回答者59人中50人が「期待する」とも期待が31人、まあ期待が19人」と答え、うれしい反応でした。さらに進化させるよう励みますのでご期待ください。



に公募した「佐渡 夢プロジェクト」に大学として「羽茂小泊集落の能楽継承と地域活性化」を提案し、応募した全国12大学の中から優秀賞に選ばれ、翌25年度から27年度まで3年間続けた能楽講座の集大成です。

佐渡出身や島に縁のある能楽師3先生の指導で3年間、謡、仕舞、笛、小鼓の能学講座を開講。学生や新潟市民も受講して羽茂小泊白山神社で発表するなどの活動を行い、能楽関係者や羽茂小泊集落の人たちと交流を深めました。

同時に、佐渡でのチャレンジ事業やコミュニティ事業等を活用した能楽継承活動を積極的に行っていました。

発表会は、能楽師3先生と小泊集落の人たち、県内の能楽愛好家の賛助出演で、伝統の能と最新プロジェクトシオンマッピングのコラボレーションを展開。幽玄な能の雰囲気や笛の音と映像で盛り上げ、舞い手の動きに合わせて曲の情景を映像で表すという国内でも珍しい演出に、客席から感動の声もあがりました。

終了後の観客アンケートでは、「今後も能と映像のコラボレーション公演に期待しますか」という問いに回答者59人中50人が「期待する」とも期待が31人、まあ期待が19人」と答え、うれしい反応でした。さらに進化させるよう励みますのでご期待ください。

# 大学を離れる



## さらに魅力的な大学へ

国際文化学科 教授 高橋正樹

開学3年目に赴任して以来、  
20年。在学生と多くの卒業生  
たち、そして教職員の皆様  
には大変お世話になりました。

い素晴らしい大学をつくろう  
と必死に駆けてきた日々でし  
た。研究室の壁に貼った歴代  
のゼミ生との写真が19枚目  
のゼミ生になります。卒業生が  
研究室を訪ねてくれるたび、  
その写真を見ながら数々の思  
い出話をするのが楽しみでし  
た。新潟国際情報大学が、ま  
す魅力的な大学になるこ  
とをお祈りしています。

## 新任教員紹介



情報システム学科の榎木公一教授は、  
先生ご自身のご都合により  
本学を退職されました。



## のべ3千人に英語講義

情報システム学科 特任教授 高橋正平

2012年4月から新潟国  
際情報大学の教壇に立ち、専  
任4年間の勤務を終えてこの  
たび無事退職することになり  
ました。専任教員として7ク  
ます。

ラス、以前からの非常勤とし  
て3クラスを7年間担当した  
ので、11年間で3千人近い学  
生に英語を教えたことになり  
ます。この間、教職員の皆様  
には大変  
お世話に  
なりました。  
感謝の  
一言に

### 阿部 聡 あべ さとし

情報システム学科 准教授

担当科目 英語

研究分野 機能言語学(日英語の分析)、  
機能言語学の英語教育への応用



略歴 2002年 3月 新潟大学大学院人文科学研究科修士課程行動科学専攻修了 修士(文学)  
2005年 4月 長岡工業高等専門学校非常勤講師  
2005年 4月 新潟経営大学非常勤講師  
2009年 4月 新潟医療福祉大学非常勤講師  
2010年 4月 新潟国際情報大学非常勤講師  
2010年 10月 新潟大学非常勤講師  
2011年 3月 新潟大学大学院現代社会文化研究科博士後期課程国際文化論専攻 単位取得退学  
2011年 4月 北陸大学非常勤講師  
2013年 4月 会津大学短期大学部社会福祉学科講師(専任)

### 宇田 隆幸 うだ たかゆき

情報システム学科 教授

担当科目 情報システム設計、データベース

研究分野 Webマイニング(ビッグデータ)、情報推薦、  
知識工学、共生コンピューティング(ソーシャルウェア)、  
データマイニングに基づく e-learningシステム



略歴 1984年 3月 株式会社日本総合研究所(研究開発・システム開発担当)  
2001年 7月 アラン株式会社(取締役CTO、兼、開発事業部長)  
2010年 4月 近畿大学工業高等専門学校総合システム工学科教授

### 藤田 美幸 ふじた みゆき

情報システム学科 准教授

担当科目 マーケティング、商品企画、ベンチャービジネス

研究分野 戦略論をベースとしICTを活用した  
1.ヘルスケア産業の研究  
2.スポーツツーリズムの研究



略歴 2011年 5月 新潟大学産学地域連携推進機構産学地域人材育成センター、  
ベンチャービジネス・ラボラトリー 博士インターシップ研究員  
2015年 4月 新潟大学大学院現代社会文化研究科 リサーチ・アシスタント

### 佐藤 若菜 さとう わかな

国際文化学科 講師

担当科目 中国語、中国文化論、日中関係論

研究分野 中国、地域研究、文化人類学、モノ研究、  
親族研究、少数民族、民族衣装



略歴 2013年 4月 日本学術振興会特別研究員  
2016年 1月 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科博士(地域研究)

### Julius C. Martinez ジュリアス・マルティネス

国際文化学科 契約講師 (CEP)

担当科目 Communicative English Program (CEP)

研究分野 英語教育、アクションリサーチ、TOEIC、文学



略歴 2015年 9月 Pearson出版社教員養成員  
2013年 7月 フィリピン国立大学・アテネオ大学非常勤講師  
2013年 7月 フィリピン国立大学言語教育博士課程在籍  
2009年 7月 インドネシア聖ヨハネ学院校長  
2009年 3月 アテネオ・デ・マニラ大学英語言語学・文学教育修士卒業



高校生はじめどなたでも  
ご参加できます!

## オープンキャンパス 2016

1 7/17 10:30  
10:30  
15:30

2 7/31 10:30  
10:30  
15:30

3 9/4 10:30  
10:30  
14:30

①学部紹介  
②入試情報・傾向と対策  
③模擬講義

④語学体験  
(英語・ロシア語・中国語・韓国語)  
⑤コンピュータ実習

⑥入試・海外留学・就職個別  
相談(キャリアカフェ)  
⑦入試対策講座

⑧実験体感コーナー  
⑨キャンパスツアー  
⑩保護者プログラムなど

無料  
学食  
体験

無料  
送迎バス  
運行

7/17  
7/31

会場 新潟国際情報大学 本校  
新潟市西区みずき野3-1-1  
(JR越後赤塚駅下車 徒歩7分)  
【参加お申込み】 高校の進路指導の先生、  
もしくは下記までお申込みください。

新潟国際情報大学フェスタ  
in うおめま 開催!  
日時 6/18 11:00~15:00  
会場 魚沼市地域振興センター  
詳しくは WEBで

お問い合わせ先 入試・広報課 〒950-2292 新潟市西区みずき野3-1-1 TEL 025-264-3777(直) FAX 025-264-3780 E-mail nyushikouho@nuis.ac.jp



# 海外セミナー報告



## 視野と価値観が広がる

国際文化学科3年 上村 果穂

アメリカのほかにネパール、インド、サウジアラビア、中国、韓国と、いろんな国籍の友人もできました。英語が母国語ではない人た

た。たくさん学びました。ディスカッションとディベートが一番の思い出です。アメリカの友人もできました。英語が母国語ではない人た

Thank you very much!

＜アメリカ留学＞  
アメリカ組21人は昨年8月から12月までノースウェスト・ミズーリ州立大学で学びました。大学では、2クラスに分けられて様々なことを学びました。



英語のリスニング、リーディング、スピーキングや文法はもちろん、アメリカの文化や習慣、歴史について

も英語で学びました。たくさん学びました。ディスカッションとディベートが一番の思い出です。アメリカの友人もできました。英語が母国語ではない人た



## ＜カナダ留学＞

昨年8月上旬から9月上旬まで、カナダのアルバータ州立大学で学びました。国際文化学科の4カ月間と比べれば短期です

## 英会話組み立てを理解

情報システム学科3年 亀山 祐樹

が、とても内容が濃く、充実した1か月でした。英語の授業では、会話とプレゼンテーションで内容を的確に表現することが重要視されました。当初は、まったく日本語が

に成長できたと思います。授業の他にも乗馬やカヌー、ゴルフなど様々な活動ができて、どれも貴重な経験になりました。中でも現地の学生と数名でグループを組み、90分間英語



で話を続けたことが特に印象的でした。お互いの国の文化について主に話し合い、会話の組み立てをどう取るのがよいか考えて理解もし、人とのコミュニケーションの大切さを実感しました。留学で得た知識と経験を無駄にしないよう、さらに英語力の向上を目指し、積極的にコミュニケーションを取ることが大切になっていきたいと思います。Thank you very much!

## ＜韓国留学＞



昨年8月31日から12月25日まで、韓国慶熙（キョン



## 友に恵まれ、異文化実感

国際文化学科3年 木下 晴香

信をつけることができました。初めは4カ月間も海外で生活できるのか不安でしたが、多くの人に恵まれ、とても充実した生活を送れました。모두 모두 감사합니다. (ありがとうございます)

なで食事を楽しみ、仲良くなりました。韓国の友達には、ほぼ毎週観光地を案内してもらいました。ルームメイトは香港の学生で、生活リズムが合わず苦労しましたが、文化の違いを近く感じることで、良い経験でした。私はこの留学を通して自

（ヒ）大学の国際教育院で学びました。留学前は生活面など不安なことも多かったのですが、出会った韓国の方はみんな親切で嬉しかったです。全て韓国語の授業は初め、理解するのに時間がかかりました。2週間ほどずると言いたいことや聞きたいことを自然と発言できるようになりました。新しい文法や単語を使いこなすのは大変でしたが、クラスのみんなとたくさん会話をしたい気持ちがあったので、とにかく韓国語を話さない！と意識し始めたからだと思います。授業のない時はクラスのみんな





## COC+国際交流事業

カナダのアルバータ州立大学とアメリカのノースウエスト・ミズーリ州立大学、ロシアのウラジオストク国立経済大学、韓国の慶熙大学から教職

2月前半グループの視察は、県庁表敬、白鳥の瓢湖や新潟日報メディアシップ見学、金物産地の三条市で鍛冶道場を体験。長岡市に続いて国宝

### 長岡や魚沼で歴史・文化がぶ

カナダ、アメリカ、ロシア、韓国の提携大学迎え

COC+（文部科学省）による「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」の国際交流関連事業の一環として、本学と提携する海外の大学、



の火焰型縄文土器がある十日町市博物館や小千谷

市では錦鯉の里を見学。同市在住のアメリカ・オレゴン州出身の方とも交流をしました。新潟市では市文化財である本学・小澤辰男初代理事長の「旧小澤家住宅」を訪れ、昔の商家の繁栄と町屋の風情を感じていました。

2月下旬グループの「交流イベント」は、派遣留学をした在学生も参加して「ワークシヨップ」となり、久しぶりの再会に涙も見られました。うちに、世界にはいろんな人がいて、実にさまざまな考え方があふれている。そして、世界はとて

感謝！（ありがとう）

# 5カ国 派遣留学

## ＜ロシア留学＞

Здравствуй те！（こんにちは）

ロシアのウラジオストクにあるウラジオストク国立経済大学で4カ月間学びました。

大学で約1年間勉強したとはいえ、初めてのロシア生活に最初は不安ばかりでした。ロシア



に、日本から遠く、ロシア人は冷たいので、は：とマ

イナスのイメージを持っていました。しかし、ウラジオストクは日本から飛行機に乗り約2時間で着いてしまうほど近く、ロシア人は初対面の人でも優しい人ばかりでした。ステレオタイプな見方をしていた自分に気づ

## 様々な国々の文化を知る

国際文化学科3年 野俣 佳那



年齢の離れた人などたくさん留学ができました。それらの人々と毎日レストランやカフェ、映画館、バレエ鑑賞、ショッピングなど様々なことをしながら、ロシア文化だけでなく、いろんな国々の文化も少し知ることができました。

くことができてよかったです。留学生活で一番思い出に残っていることは様々な国の人たちと交流できたことです。韓国、中国、台湾、ドイツ、アメリカなどたくさんの方から来た人、

再び機会があればロシアに行ってみたくですし、今回の留学で学んだことを活かしていきたいです。Спасибо。（ありがとう）

## ＜中国留学＞



約4カ月間、中国の北京にある北京师范大学で学びました。



振り返ると、とても短く感じられます。しかし、多くの気づきをもたらしました。小さいころから海外に興味を持っており、留学生活を是非とも有意義にしようと考えていました。そして限られた時間の中で後悔せずに過ごすにはどうすればよいのか、私は何をしたいのか、何をすべきかを考えて、一日一日を大切に過ごすごうことができました。

## 多くの出会いが宝物に

国際文化学科3年 池田 理紗

また、中国の人たちだけではなく、さまざまな国々の人たちと交流できました。そして、彼らと関わる

中にとっても多くの人に出会えました。今、この出会いは私にとっての宝だと思っています。留学のおかげで友達のさりげない優しさや心遣い、離れてわかる家族の絆、温かさに気づけました。初めて4カ月間も海外で過ごせたのは、一緒に行った仲間、家族や友達、中国で出会った人たちが支えてくれたおかげです。これからも留学中の経験を忘れず中国語の修得に励んでいきたいと思っています。



開催



## 平成27年度卒業生 主な就職先一覧

(株)アークベル	(株)コメリ	(株)トスネット上信越	(株)ひらせいホームセンター
アークランドサカモト(株)	サイバーコム(株)	外山産業(株)	ビルトマテリアル(株)
アースサポート(株)	坂井精工(株)	トヨタカラー新潟(株)	(株)フォレストホームサービス
(株)アイザヤジャパン	(株)三菱	トヨタカラー北越(株)	富士ゼロックス新潟(株)
アイテックメタルフカウミ(株)	(株)三光社	(株)トラステック	(株)富士通新潟システムズ
(株)アイティテラ	(株)三宝	(株)鳥梅	(株)フジミック新潟
青山商事(株)	(株)ジェイ・エス・エス	トリオシステムプランズ(株)	(株)双葉メディカル
アグシアルリテイリンググループ	ジェイコムホールディングス(株)	長岡グランドホテル	(株)PLANT
(株)アクティオ	(株)JTBグローバルマーケティング&トラベル	新潟運輸(株)	(株)プレスメディア
アサヒアレックスホールディングス(株)	(株)システムアート	(株)新潟エヌテーエヌ	(株)文武堂
As-meエステール(株)	システムリサーチ(株)	新潟県警察	防衛省 自衛隊
アルファテクノロジ(株)	(株)因しただ／(株)備しただ	新潟県警察行政	(株)北越
(株)アルファブライト	(株)七里商店	新潟県済生会三条病院	(株)ほくつう
(株)イーエムエス新潟	清水商事(株)	新潟県信用組合	(株)ホテル新潟
石本商事(株)	下郷町役場	新潟県信用農業協同組合連合会	(株)マツモトキヨシ甲信越販売
ヴィームスタジアム(株)	ジャパニース(株)	(株)新潟県農協電算センター	丸連建設(株)
(株)ウオロク	(株)JALスカイ	(株)新潟ケンベイ	(株)マルゴシステム
(株)ウメザワドライ	昭和電機産業(株)	(株)新潟県労働衛生医学協会	見附市役所
(株)エイジェック	(株)シリウス	新潟交通(株)	見附染工(株)
エコー金属(株)	(株)スペースアルファシステム	新潟交通商事(株)	(株)三ツ葉パーツ
(株)エスエフシー新潟	(株)スポット	新潟市消防局	源川医科器械(株)
越後中央農業協同組合	スワロー工業(株)	新潟信用金庫	宮島石油販売(株)
(株)NSGアカデミー	(株)星光堂薬局	新潟スバル自動車(株)	(有)向井園
(株)エヌ・シー・エス	セキサーマル(株)	新潟精機(株)	室蘭商工会議所
(株)エヌ・ティ・エス	(株)第一印刷所	新潟総合警備保障(株)	明和工業(株)
(株)エヌ・ティ・ティ エムイー	(株)第一実業	新潟トヨペット(株)	(株)メディセオ
(株)オーネックス	第一生命保険(株)	(株)新潟日報サービスネット	MED Communications(株)
(株)オシカワシステム	(株)大光銀行	新潟みらい農業協同組合	山本税理士事務所
(株)オスカー技研	(株)第四銀行	新潟名鉄(株)	(株)ゆうちょ銀行
(株)オタケ	第四証券(株)	(有)新津興器	(株)ヨシカワ
(株)小野組	(株)ダイヤメット	(株)西山カートン	(株)ヨドバシカメラ
カイツ自動車(株)	(株)高儀	日産プリンス新潟販売(株)	リコージャパン(株)
(株)カシックス	(株)タカショー	日本郵便(株)	リゾートトラスト(株)
片山商事(株)	(株)高助	(株)日本ハウスホールディングス	(株)リビングギャラリー
加茂信用金庫	(株)たかだ	(株)ニューリース	(株)レオパレス21
(株)カヤック	中越運送(株)	(株)ニラク	(株)ロングラン
(株)環芸	中越グリーンサービス(株)	(株)ノジマ	(株)ワタナベ
(株)キュービット	(株)ツルボックス	(株)ハードオフコーポレーション	ワタナベグループ
(株)クスのアオキ	THK新潟(株)	パートナーズプロジェクト税理士法人	(株)渡辺製作所
(株)熊谷板金	(株)TSIグループヴァンドスポーツ	ハーバーハウス(株)	和平フレイズ(株)
(株)くらコーポレーション	(株)ティーガイア	(株)ハーモニック	
KLab(株)	(株)テイクス	(株)ハウステック	
クリナップ(株)	(株)電子工学センター	(株)BSNアイネット	
(株)グローバルネットコア	東京アプリケーションシステム(株)	東日本旅客鉄道(株)	
生活協同組合コープにいがた	東洋ワーク(株)	(株)ビッグカメラ	
コネクシオ(株)	(株)TOSYS	(株)ビット・エイ	

平成28年3月現在(五十音順)

## 就活スタート!

け身でするのではなく、より積極的に業界や企業を知ってほしい」「交流会は、多くの職種の担当者や学生が一堂に集まれる」「企業も学生の個性や大学の雰囲気を感じられる」と好評価を頂きました。参加した学生は、人事担当者とのやり取りを通して、企業人の考え方や社会人のマナーを知る機会にもなったことでしょう。



テーブルを挟んで質疑応答する学生たち

て、3月の就活解禁と共に会社訪問を始めたことと思います。4月16日、17日開催の「学内合同企業説明会」の参加企業200社からの情報なども参考にして、さらに多くの会社を訪ねて自ら雰囲気を知る努力を重ね、さらに積極的に担当者や面会して会社の情報や手ごたえを整理して職種と会社を絞り、卒業後の羅針盤を定めてください。



## 教員の活動(本人申告による)

### 1) 研究論文・図書

- 安藤 潤(国際文化学科・准教授)**
- ・(2016年) "Social Norms, Gender Identity, and High-Earning Wives' Housework Behavior in Japan: An Identity Economics Framework", Japanese Political Economy 41(1-2), 36-51
- 白井 陽一郎(国際文化学科・教授)**
- ・(2015年) 「EUの対外行動にみる規範政治の諸相——近隣クロスボーダー協力(ENI CBC)を事例に」『グローバル・ガバナンス』2号(68-82頁)
- 神長 英輔(国際文化学科・准教授)**
- ・(2016年) 「シベリアと林業・漁業」『新しく学ぶ西洋の歴史(ミネルヴァ書房)』(188頁)
- 白井 健二(情報システム学科・教授)**
- ・(2016年) "Analysis of Production Processes Using a Lead-Time Function", International Journal of Innovative Computing, Information and Control 12(1), 125-138
- 近山 英輔(情報システム学科・准教授)**
- ・(2016年) J. Kikuchi et al., "SpinCouple: Development of a Web Tool for Analyzing Metabolite Mixtures via Two-Dimensional J-Resolved NMR Database", Analytical Chemistry 88, 659-665
- 藤本 直生(国際文化学科・准教授)**
- ・(2016年) Adamson, J. et al., "Sustaining Reviewing Quality: Induction, Mentoring, and Community", English Scholars Beyond Borders (ESBB) Journal 2(1), 29-57
- 矢口 裕子(国際文化学科・教授)**
- ・(2013年) "Anais Nin's Buried Child: Translator's Afterword to the Japanese Version of Winter of Artifice(the Paris edition, 1939)", Nexus: The International Henry Miller Journal 10, 135-46
  - ・(2014年) "Winter of Artifice: An Odyssey-Anais Nin's Lost Work", A Café in Space: The Anais Nin Literary Journal 11, 32-40

- ・(2014年) 『憑依する過去—アジア系アメリカ文学におけるトラウマ・記憶・再生(金星堂)』(249-262頁)
- ・(2015年) 『早稲田文学(2015年秋号)』(284-287頁)

### 2) 学会・研究会・講演等

- 内田 亨(情報システム学科・教授)**
- ・(2015年9月12日) Remy Mangier-Watanabe 他「The Effect of Happiness on the Relationship between Organizational Virtuousness and Individual Performance among Japanese Workers」国際戦略経営研究会第8回全国大会(玉川学園大学)
- 越智 敏夫(国際文化学科・教授)**
- ・(2016年1月23日) 「政治を市民の手に!」新しい社会プロジェクト(クロスバールにいがた)
  - ・(2016年2月21日) 「生み出される貧困と対立の連鎖: 格差社会とグローバリゼーション」ジェンダーで社会を考える講座(新潟市男女共同参画推進センター)
- 矢口 裕子(国際文化学科・教授)**
- ・(2013年12月8日) 「移動する女性の書きものと惑星の想像力—キングストン、スピヴァク、ニン」アナイス・ニン研究会第3回例会(国際文化会館)
  - ・(2015年12月9日) 「アナイス・ニンの日記を翻訳する」日本ヘンリー・ミラ協会第23回大会(東京外国語大学)

### 3) 委員・社会的活動・記事・その他

- 内田 亨(情報システム学科・教授)**
- ・(2015年9月9日) 内田研究室の卒業研究生である4年吉田朱来、五十嵐海里が新潟県総務管理部による「大学生の力を活かした集落活性化事業」の中間報告会にて新聞取材を受け、平成27年9月9日の『朝日新聞』に本学名と吉田君の名前が明記され掲載される(新潟県庁)



アルバイト、ゼミ、就職活動、勉強、出会いと経験がたくさんあった4年間はあつという間でした。3年

からの卒業研究は河原研究室で、プログラミング言語

の知識も仕組みも分からず苦勞しましたが、先生の指導と本を頼りに勉強して独自にプログラム開発もできるようになり、パソコンで何かを動かす作ることが好きになりました。

## 課題、失敗、…達成

情報システム学科 齋藤 大河

た。

プログラムがフリーズしたり、ゴミの識別を誤った修正と失敗続き。課題と失敗を繰り返して挫折しかけたこともありましたが、先生のアドバイスと研究室の友人の支えで

した。

親身に指導してくれた河原先生、研究室の仲間たちに感謝しています。この経験は社会に出て忘れません。学んだ粘りと技術を生かして貢献できる社会人を目指します。



学生生活で力を注いだと思うのは卒業研究です。スーパーマーケットの「ビニール袋の取り出し易さ向上」を研究テーマにしました。

## 卒業研究が優秀賞に

情報システム学科 田中 優美

た。レジを出たお客が商品を袋に詰め直すのに、テープ上のビニール小袋を供給するローラー器具が、使いにくいと感じたからです。

私はその動作を映像に撮って観察し、取り出しやすくする改良案をいくつも考えた。

最終的に、袋の取り出しやすさが現状器具の約4割から、改良により約7割にまで向上させることができました。そして、この研究を日本人間工学会東海支部

で気持ちも折れかけました。先生や職員、友人たちに囲まれて充実した4年間を送ることができました。本当にありがとうございました。

研究者になってくれた約50人の皆さんが何度も何度も実験に協力してくれたおかげです。

# 出会い、感動、涙、そして挑戦

## 卒業にあたって



1年次に所属したゼミでは、原発問題と尖閣諸島問題を学びました。人見知りで、討論や筋道通った文章の苦手な私は、初めついでいける不安でしたが、次第に挙手して質問ができるようになり楽しくなりました。尖閣問題の議論では、お互いの国の立場で考えると問題の見方が変わりました。

2年次は食の問題について

## 4年間のゼミ、自信に

情報文化学科 大平 麻耶

には発見が多く、改めて地震について考えるきっかけとなりました。授業以外にも温泉や飲み会など、楽しい思い出ばかりです。3年次のゼミは国際政治でした。拉致問題をテーマに、資料集めなど、自ら調査

生活全般、プライベートなど何でも相談できる尊敬できる先輩ができました。同級生の仲間とはダンスだけではなく、くだらないことも熱く語りあい、ふざけあっていた日々、海や温泉に行つたこと、すべて大切な思い出です。みんなのいるダンス部が大好きです。部活を引退してから就職活動や卒業論文などで顔を合わせたことも少なくなりましたが、キャンパスで見かけると思わず駆け寄ってしまうほどでした。卒業後も、会えたらまた昨日会ったような感覚になれるのだろうと思います。苦楽を共にしたからこそ、一生の関係でいいと思います。



たくさんさんの友人に恵まれた。特にダンス部の時間はかけがえのないものでした。高校で部活動をやめた後、ダンスが嫌になつたことも数え切れないほどありました。それでも決まっていたのは、先輩や仲間のおかげです。仲間が待っているのが楽しく、部活が待ち遠しいほどでした。おか

## ダンス部で苦楽共に

情報文化学科 石塚 太朗

にも積極的に誘われ、学生生活で楽しかった。ダンスが嫌になつたことも数え切れないほどありました。それでも決まっていたのは、先輩や仲間のおかげです。仲間が待っているのが楽しく、部活が待ち遠しいほどでした。おか

は就職活動や卒業論文などで顔を合わせたことも少なくなりましたが、キャンパスで見かけると思わず駆け寄ってしまうほどでした。卒業後も、会えたらまた昨日会ったような感覚になれるのだろうと思います。苦楽を共にしたからこそ、一生の関係でいいと思います。



平成27年度

# 卒業式

## 学長式辞



新潟国際情報大学  
学長 平山 征夫

本日、ここに新潟国際情報大学の第19回卒業式を迎え、まず初めに卒業生諸君に心からお祝い申しあげます。「卒業おめでとう」。

また、ご列席のご父母の皆様にもお祝い申しあげます。4年間家庭から支えて来られたわけで、本日を迎えられるお慶びいかばかりかとご推察申しあげます。ご臨席いただきましたご来賓の方々に御礼申しあげます。

開学以来本学に格別なるご支援を賜り、改めて感謝申しあげます。

卒業生諸君、本学での学生生活はいかがでしたか。今皆さんは卒業式に臨み、4年間のみずき野での大学生活のことが次々と思ひ出されていることでしょう。それは楽しかったことばかりではなく、苦しかったこともあったでしょう。それを乗り越えて今日という日を迎えられたことに心より拍手を送ります。

4年前、皆様は大きな希望に燃えて入学しました。そしてみずき野の四季は巡り、4年の歳月が経ちました。ここでのキャンパスライフは皆さんの青春そのものだったわけで、この恵まれた自然の中でスポーツにいそしみ、友人と友情を育み、そして先

生方の指導のもと勉学に励んだ大学生活は、皆さんを大きく育んでくれたことでしょう。

今春、みずき野から巣立ってゆく卒業生は、情報文化学科121名、情報システム学科142名、合計情報文化学部263名です。皆さんは4月からは社会人としてそれぞれが選んだ新たな途に踏み出すわけです。実社会では多くのより困難な課題にぶつかることでしょう。

我が国を取り巻く現在の経済情勢は、皆さんの多くがこれから所属する企業にとって容易ではない時代でもあります。そうした時代を社会人として自立して生きてゆくのに多くの困難に遭遇することは想像に難くありません。しかも大学で学んだことはすぐ役には立たないでしょう。だから、当

## 人は宿命に生まれ 運命に挑み 使命に燃ゆ

面皆さんは戸惑い悩むでしょう。でも、大学で学んだことは必ず役に立ちます。それは、あたかも地中に深く伸びて木を支える根のように皆さんに人生に必要な知恵を送り続けてくれるはずで、みずき野で学んだことがこれからの人生で戸惑う度に「考え、判断し、実行し、解決する力」として、生きる知恵となって皆さんを支えてくれるでしょう。その力を高め続ける努力をすることが大切です。卒業後も学び続けてください。そしていつまでも夢に向かってチャレンジしてください。私が生きてゆく拠りどころとしている言葉があります。少し大袈裟な表現で気恥ずかしいのですが、皆さんにもきつと役立つと思いますので、旅立ちのはなむけとして贈ります。それは「人

は宿命に生まれ、運命に挑み、使命に燃ゆ」という言葉です。いつの時代にもどの国のどんな家庭に生まれるかなどは自分ではどうにもならない「宿命」です。抗いがたい宿命を嘆くのではなく、これを受け入れながら運命に挑戦すべきであると言っているのです。夢を持ちそれに向かって努力すれば運命は開けます。何故なら運命は変えられるからです。

逆に言えば運命に挑むためには夢を持ち、それを実現するためにチャレンジしてゆくことが重要なことです。その中から自分の一生を捧げたいと思うことが見つければ、それをこの世に生を受けた使命・天命と思つて命を燃やさない、ということをお教えしてくれています。使命、命を掛けてもよい人生の目標、夢に巡り合えた人は幸せです。私自身も日本が敗戦から立ち上がり、貧しいけれど成長してゆく時代にこの新潟で生まれ育ちました。この宿命の元、まだ進学率の低い時代でしたが、どうしても大

学で学びたいという夢を持ちました。今から思えばそれが私の運命への挑戦でした。貧しかった我が家では無理と思われていた夢でしたが、日本経済の成長がそれを可能にしてくれました。そして現在、これまでの経験を活かして大学で高等教育、すなわち若者の育成を使命に出来ることを幸せに思っているところです。皆さんは私の約50年後の成熟した時代に生きるという宿命を背負っています。それは私の時代よりはるかに条件は恵まれており、大学進学も過半の人がする時代です。でも豊かになれば幸福な人生を送りやすいかは別です。幸福感はかなり相対的だからです。現在のグローバル化による世界規模での競争の激化、国家間をはじめ、所得層間など各種の格差の拡大などはむしろストレスの多い目標の持ちにくい社会を生んでいるかもしれません。そうした社会に船出してゆくのですから強い精神

## JABEE認定プログラム

## 10名の卒業生に 修了証書授与



から一人ずつ修了証書を授与されました。

本プログラムは情報システム学科の情報と関連分野の教育内容をJABEEが認定した教育制度で、修了生は「技術士補」の国家資格が得られ、文部科学省令で定める技術士資格第一次試験免除の優遇措置が受けられます。また、情報システムを開発する技術者になるために必要な教育を受けたことが社会的評価として与えられます。

卒業式に先立ち、JABEE（日本技術者教育認定機構）で認定されている、情報システム技術プログラムの修了証書授与式が行われました。平成27年度の修了生は10名で、学長



学校法人 新潟平成学院  
理事長 星野 元

## 理事長祝辞

が求められます。いよいよその本番に船出する皆さんには、どうか強い精神を持って運命に挑戦し続け、いつか使命を見出して欲しいと思います。この言葉を贈ります。

今、世界経済は成長力の鈍化や経済のデフレ化という課題に悪戦苦闘中で、欧州と日本ではマイナス金利という歴史上初の政策金利まで発生しています。これは資本主義が成熟してしまい、地球上にはもはや大きな成長をもたらしてくれるオアシスはなくなってきたと指摘する経済学者もいます。一方、こうした需要不足の経済の低成長化は限りなく金融緩和によりデフレマインドを克服し、低成長から脱却しようとする考えもあり、世界の先進国ではこうした考えに基づき、超金融緩和政策をとり、先ほど申しあげたようにマイナス金利政策まで生じています。そこには持続的な経済成長を確保すべきという考えがあります。でも最近では経済学者の中からも、「いつまでも成長を続けられるのか」とか「人々を幸福にする成長であるかが重要」といった主張が聞かれ、「幸福の経済学」というテーマでの研究がなされています。漸く本来の経済学の目的に向かい始めたようです。しかし人々の幸福のためのもう一つの重要な要件である平和、すなわち戦争のない世界の構築ということでは、残念ながら事態は近年大きく悪化、緊張が高まっています。

ます。特に中東・アフリカにおける民族・宗教対立などからIS問題やテロ、難民という非人道的かつ深刻な悲劇が広く発生しています。新自由主義とグローバル化は国家間だけでなく国内的にも所得格差の拡大を生み、米国大統領選挙に見られる「1%支配」が「99%不満」を発生し、不安定な社会を生み出しているようです。欧州復興開発銀行の初代総裁を務めたフランスのジャック・アタリは「米国の支配力低落はGゼロの政治情勢を招来し、歴史上大国ローマ帝国が減んだ時と同じような不安定な状況を生み出している」と表現しています。厳しい現在の政治・経済状況を解決する力を今の先進国は持っていないのではと言っているわけです。そうだとすると、皆さんは歴史的な大きな困難と変動の荒海に乗り出すのかもしれない。だからと言ってたじろいではないかもしれません。賢い思考力・判断力と大いなる勇気をもって挑戦しなくてはなりません。一つの時代でも難しい課題はありました。若者はいつても時代に立ち向かって切り拓いていったのです。今度は皆さんの番です。

数が大きく、危機感が増しています。本学の卒業生の多くは卒業後も本県内で生活してゆくわけですが、自分たちが住む地域を愛し、地域人として自らが住む地域を良くしてゆくことにも立ち向かって欲しいのです。「地域で生きる」ということにも大きな価値を持った人生を送ってください。それは良き友人や豊かな人間関係を生み出し、自分の人生の夢を実現しようとする時、きつと力となってくれるでしょう。明日からは、自分の足だけで立って、前を向いて自分の手で未知なる道をかき分けて進んでゆきましょう。全力を尽くした人生こそ納得出来る人生です。納得のゆく人生を送ってください。

私が大切にしている茨木のり子の詩「自分の感受性くらい」にはこう書かれています。

「(前半略)

初心消えかかるのを  
暮らしのせいにするな  
そもそものが  
ひよわな志しにすぎなかった  
駄目なこと的一切を  
時代のせいにはするな  
わずかに光る 尊厳の放棄  
自分の感受性くらい 自分で守ればかものよ」

先月新潟で知的障害者のスポーツ大会「スペシャルオリンピック」が開催され

ました。私は実行委員長を務めたのですが、参加してくれた多くのボランティアから「支援のために参加したけれど、あの一生懸命な姿と笑顔に接し、逆にこちらが癒され元気を貰った」という感想を頂きました。私もこの大会期間中、彼らと接し自分がどんなに優しい気持ちになってゆくのを感じました。自立するということとは「他人に頼らずに生きてゆくだけではなく、困っている人を助けてあげる」ということです。優しい人になってください。

最後に卒業後も本学に想いを寄せてください。私は本学の目標は「地域に必要な大学生であり続ける」とことだと思っています。それはこの地域で活動している本学の卒業生諸君にとつて、誇りの持てる母校であり続けることでもあると思います。それには卒業後も皆さんと大学がつながっていることが大切です。同窓会活動など、機会を見つけて大学とつながってってください。

暖冬だった冬が早々と終わり、みずき野に春が訪れてきました。今年も卒業生を送り出し、新入生を迎える春が訪れました。大学は毎年春に卒業と入学を繰り返しながら、歴史を刻み伝統を育んでゆきます。それぞれが春とともに新たな人生の出発を迎えます。この春社会人としての人生に出发する皆さんの前途に幸多かれとエールを送って私のお祝いの言葉といたします。

新潟国際情報大学の第19回卒業式にあたり、設置者の学校法人新潟平成学院理事長として卒業生の皆さんに心よりお祝いを申し上げます。併せて多数ご出席いただきましたご父母の皆様、誠におめでとうござい。年度末のたいへんお忙しい中ご参列

いただきましたご来賓の皆様たいへん有難うございました。卒業生の就職をはじめ日ごろなにかとご高配をいただき重ねて厚く御礼を申し上げます。

さて、263名の卒業生の皆さん、今日この日なを思い考えていますでしょうか。

## 急がず 緩まず 焦らず ぶれない

春から夏、秋から冬へいろいろな表情を見せてくれる弥彦山、角田山をのぞむ「みずき野」のキャンパスでの思い出は尽きないことと思います。

私は昨年の卒業式で、宗教上の絶えない争いや地域間の紛争のこと、多発するテロの脅威や想像をこえる自然災害、そして未来にわたって抱え続けなければならない福島原発のことなど、つらい時代にあっても、強い心と覚悟をもって、これからの長い人生を生き抜いてほしいと、皆さんに訴



えました。今年もまた厳しく生きづらい時代を歩まなければならない若い皆さんを前にして同じようなことを申しあげます。

記憶に新しいでしょうが昨年11月、パリで大規模なテロが同時多発的に起きました。死者百数十名、負傷者数百名にのぼる大惨事でした。

そのパリの学校や役所など公共施設に掲げられている市の紋章を見たことがある卒業生はおりますでしょうか。16世紀から使われてきたという紋章にはセーヌ川に浮かぶ帆かけ船、帆船が描かれ、その下にラテン語で「たゆたえども沈まず」という言葉が刻まれています。その通りに読めば「強い風が吹いて大きく揺れても船は決して沈まず」という心気や沈まない、という自信を示している」ということでしようか。しかし、この銘文にはもっと強い決意が込められております。パリは長い歴史のなかで外敵に攻め込まれるなど多くの苦難に遭い、翻弄されてきたけれど、これらに決して屈せず乗り越えてきた誇りと精神を未来にわたって持ち続けていこう、との決意です。

「たゆたえども沈まず」。パリ市民はテロに遭い改めてこの銘文をかみしめたことでしょうか、私は東日本大震災から5年がたった今月11日の日、この言葉を思い浮かべ、ご苦労されている方々に重ねました。そして卒業式の今日、実社会に船出間近

日増しに暖かくなり過ぎやすい季節となりました。春めいてくるとともに、私たちも一つの節目を迎えます。

本日は私たちのために、このような盛大な卒業式を開いていただき、誠にありがとうございます。本日、私を含め、263名が晴れて卒業することとなりました。これまでご支援を賜った全ての方々に、卒業生を代表して厚く御礼申し上げます。

4年前、期待と不安を胸に新潟

## 卒業生代表 答辞

国際情報大学の門をくぐったことが昨日のことのように思い出されます。時の流れは早いもので、4年間の大学生活はあっという間に感じられ、とても短かったように思います。

私は入学以前にJABEEという制度があることを知り、JABEE取得を目標に勉強に励みました。また情報システムに関する知識や技術だけでなく、経営学や社会学、語学など幅広い分野についても学び、

## 前を向いて 新しい道



〈総代〉 情報システム学科

大畠 玲那

多角的に物事を考える視点と一つの分野に捉われない広い視野を身につけることができました。

その中で私はシステム構築に興味を持ち、この分野をより深く学びたいと思い、研究室を決めました。卒業研究では、当初考えていた機能を実現することがで

きないなどなかなか思うようにいかず苦労しましたが、先生方に助言をいただきながら、研究を進めていきました。自分が思うものを一から形にすることは容易ではなく、システム構築の難しさを感じるとともに、完成したときの達成感も得ることができました。この経験から、システムを

263名の皆さんにも、この「たゆたえども沈まず」という言葉を贈る言葉にしたいと思えます。

皆さんが第一歩を踏み出す会社や組織は「即戦力」を求め期待するところもあるかも知れませんが、もちろん、これに比べられる人は大いに頑張る能力を発揮してほしいと思います。しかし、できないからといって、しよめることはありません。

昔、慶應義塾の塾長だった小泉信三さんが「すぐ役に立たなくてよい」という教育を勧め、「すぐ役に立つようなことは、すぐ役に立たなくなる」と言われました。「まず基本を積み重ねなさい」ということかと思えます。私はかつて新聞社に勤め、活字

つくることにやりがいを感じ、この学びを活かすことができる仕事に就きたいと考えました。昨年、就職活動の日程が変わり、焦りや不安を感じることもありましたが、様々な企業との出会いの中で自分に合った企業を見つけることができました。大学での学びを通して、様々なことを吸収し、そして新たな目標を見つけることができ、非常に有意義な4年間を過ごすことができました。

今日を節目として、私たちはそれぞれ新しい道へと進みます。私たちがこれから歩んでいく道には楽しいことだけでなく、辛いことも待ち受けているかもしれません。しかし、大学生活で得てきたことを糧にして、前を向いて諦めずに努力し乗り越えていきたいと思います。

最後になりましたが、4年間ご指導を賜りました教職員の皆様、今日まで温かく見守ってくれた家族、同じ時間を共有した友人たち、その全ての方々に心より感謝いたします。本日ご臨席の皆様のご健康、新潟国際情報大学のさらなる発展を願ひ、私の答辞とさせていただきます。

## 祝電

順不同

とともに50年近く働き最後は経営も手掛けましたが、会社人生では「ひとにぎりの優秀な社員がいても組織はうまく動かない」ことを実感しました。組織にとつて大切なことは目立たなくても誠実にコツコツと働く人です。皆さんにはしっかりと目標を持ってコツコツと仕事を積み重ねる組織人、社会人になってほしいと願っています。

「急がず、緩まず、焦らず、そしてぶれない」。皆さんには、そんな社会人になってほしいと思います、この言葉を今日の卒業式の贈る言葉に付け加えて祝辞とします。

日本私立大学協会会長

大沼 淳様

新潟県知事

泉田 裕彦様

新潟市長

篠田 昭様

新潟県商工会議所会頭

福田 勝之様

株式会社新潟日報社

小田 敏三様

代表取締役社長

秋山 忠様

株式会社総研システムズ

清水 保様

代表取締役

古出 哲彦様

東洋ワーク株式会社

須佐 尚康様

代表取締役社長

須佐 尚康様

ALSO K

廣田 幹人様

新潟総合警備保障株式会社

山城 由紀雄様

代表取締役社長

太田 豊彦様

株式会社福田組

清水 辰雄様

代表取締役社長

栗林 和徳様

株式会社マリイ

吉澤 克彦様

代表取締役

栗林 和徳様

室蘭商工会議所会頭

栗林 和徳様

株式会社リクルート北関東マーケティング

栗林 和徳様

代表取締役社長

栗林 和徳様

代表取締役社長

栗林 和徳様

代表取締役社長

栗林 和徳様

代表取締役社長

栗林 和徳様

代表取締役社長

栗林 和徳様

代表取締役社長

栗林 和徳様



## 平成27年度卒業式

# 心新たに! 263人の門出祝う



羽ばたく春―平成27年度(第19回)卒業式が3月21日、新潟市民芸術文化会館(りゅーとぴあ)で行われ、263人(情報文化学科121人、情報システム学科142人)が晴れて社会への第一歩を踏み出しました。

式典は学位記授与に始まり、卒業生一人ひとりが名前を呼ばれて登壇、平山学長が笑顔で「おめでとう」と握手して祝福しました。学長は式辞で「卒業後も学び続け夢に向かってチャレンジしてください。努力すれば運命は開けます。全力を尽くして納得できる人生を送ってほしい。良き職業人、地域人を目指し、困っている人を助ける優しい人になってください」と激励しました。

また、星野理事長は「たゆたえども沈まず。急がず、緩まず、焦らず、ぶれない。目標を持ち誠実にコツコツと仕事を積み重ねる社会人になってほしい」と祝いの言葉を贈りました。

## 夢に向かってチャレンジ 良き社会人、地域人たれ…

卒業生特別表彰に続き、卒業生代表の情報システム学科・大畠玲那さんが「辛いことも待ち受けているでしょうが、大学生生活で得たことを糧に前を向いて諦めず努力して乗り越えたい」と力強く答辞。最後は卒業生と教職員、父母ら全員で校歌を斉唱しました。

夕方からはANAKラウンプラザホテル新潟で祝賀会が開かれ、友人同士や教職員とも別れを惜しんで抱き合い、記念撮影や胴上げをしてにぎやかに門出を祝いました。



### 第19回までの卒業生は合計5,513人に

年 度	卒業者数	情報文化学科	情報システム学科
平成9年度(第1回)	295人	116人	179人
10年度(第2回)	290人	124人	166人
11年度(第3回)	303人	126人	177人
12年度(第4回)	294人	116人	178人
13年度(第5回)	291人	118人	173人
14年度(第6回)	277人	111人	166人
15年度(第7回)	314人	118人	196人
16年度(第8回)	294人	115人	179人
17年度(第9回)	299人	121人	178人
18年度(第10回)	278人	110人	168人
19年度(第11回)	312人	126人	186人
20年度(第12回)	285人	117人	168人
21年度(第13回)	267人	105人	162人
22年度(第14回)	310人	117人	193人
23年度(第15回)	272人	110人	162人
24年度(第16回)	294人	113人	181人
25年度(第17回)	291人	124人	167人
26年度(第18回)	278人	107人	171人
27年度(第19回)	269人	124人	145人
合 計	5,513人	2,218人	3,295人

※9月卒業生含む

**情報システム学科**  
燕温泉集落活性化チーム 五十嵐 海里  
吉田 朱来

新潟県が主催した集落活性化事業計画の発案や、新潟市西区食育イベントにおいて、特徴ある企画が多数の候補から採択され、地域と大学との連携に大きく貢献した。

**地域交流賞**  
情報システム学科 相馬 一輝

本学初の大規模なサッカーバリアブルプロジェクトを成功させ、学内の活性化に寄与した。また、県内7大学が参加している学生と社会人の交流活動団体の代表を務めた。

**課外活動賞**  
情報システム学科 田中 優美

日本人間工学会研究大会において優秀賞を受賞し、研究成果の一部である特許を外部企業に譲渡するなど優秀な成績を修めた。

**学術賞**  
情報文化学科 神田 張健

第14回「漢語橋」中国語スピーチコンテスト新潟予選大会において優勝し、世界大会に出場した。また、HSK6級を取得するなど優秀な成績を修めた。

**学長賞(学業成績優秀者)**  
情報システム学科(総代) 小宮 姿名子  
大畠 玲那

### 平成27年度 卒業生特別表彰